

隣保館だより

令和 8 年 7 月 1 日 発行

第 5 9 5 号

相生市立上松隣保館（28-0783）



今年も玄関脇に15本のイトランが咲きました。残念ながら、もう散ってしまいました。イトランはキジカクシ科の常緑植物で、下向きのベルのような白い花が鈴なりに咲きます。来年も楽しみです。

これから、季節は本格的な夏へと移り変わります。熱中症に気をつけながら、暑い夏を乗り切りましょう。

市民人権学習会

今年も、市内各地で市民人権学習会が開催されています。

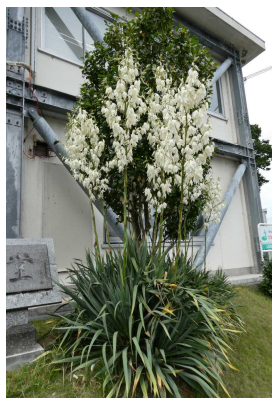
隣保館でも、百歳体操の後学習会を開催して、人権啓発DVDを視聴していただいています。本年度のおすすめDVDの内容を下記にお知らせします。視聴を希望される方は、事前に隣保館までお知らせ下さい。他にもおすすめの作品を用意していますので、お問い合わせ下さい。

「見上げれば」

2年間のひきこもり状態で、大学を休学している主人公の陽人。ひきこもり支援窓口で母親が相談したことがきっかけで、陽人の中学時代の友人樹と再会します。お互いの趣味であったゲームを通して、つながりあう2人。そんな中、樹もひきこもりであったことを告白します。

早い段階で適切な支援につながる重要性、信頼できる他者とのつながりや寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけとなります。寄り添い合い、誰もが支え合える社会の実現について考えることのできる作品です。

企画：兵庫県の作品



新聞のコラムより

「文化」とは土に向かおうとすることであり、それとは逆に「文明」とは土から離れようとするということだ。人は土を離れ、便利な都市文明を築いた。クマは山を離れ、どこに向かうのだろう。あてもなく町をさまよう姿は哀れみを誘うが、住民にとっては恐怖でしかない。福島市の工場にクマが立てこもり、蛇口から水を飲み、自ら窓を開け逃げた。宇都宮市では商手街を疾走するクマがカメラにとらえられた。神戸市でも初めて北区の山林にその姿が確認されている。人を吸い寄せて成長した都市文明は、地方の過疎と高齢化を早めた。共同体として細るばかりの里山に、山から下りてきたクマを追いつく体力は残っていない。クマは町へと前線を広げ、帰る道さえ分からない。

歌人の花山さんは、土なき道を走る。その姿は「この上なく痛ましい」と。不意の遭遇が危険というが、どこで出くわすかがもう分からない。「その時どうする」の心構えが要る。

神戸新聞「正平調」より 一部省略

＜講座・同好会紹介コーナー＞

料理講座

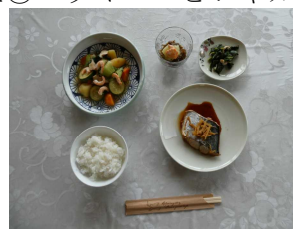


年間10回、第二水曜日に、講師の竹本博子先生とともに、6名の皆さんが和気あいあいと楽しい雰囲気の中で活動されています。

6月の17日には、

①さわらのしょうが煮
②なまもずくのキウイ酢和え
③ズッキーニとジャガイモの炒め煮
④ごはん、⑤お味噌汁を作られていました。

その後、出来上がった昼食を召し上がりながら、楽しい会話に花を咲かせ、一時を過ごされていました。



令和8年7月分

隣保館教育事業予定表

日曜	午前	午後	夜間	日曜	午前	午後	夜間
1水	菓子作り(A) きものリメイク	カラオケ		17金			
2木		詩吟同好会 習字		18土			
3金	菓子作り(B)			19日			
4土				20月	海の日(休館日)		
5日				21火		健康体操	
6月	卓球同好会	カラオケ同好会		22水			
7火		健康体操		23木	百歳体操	習字	
8水	料理			24金			
9木	百歳体操	習字		25土			卓球
10金				26日			
11土			卓球	27月		たんぽぽの会 ポスター教室	
12日				28火	じゃがいもの会	たんぽぽの会 社会見学旅行 和気ヤクルト工場・長島愛生園	
13月	パン作り			29水	交流学習会		
14火				30木			
15水		カラオケ		31金			
16木		詩吟同好会 習字					

《変更になる場合があります。自主講座を含んでいます》